

平成28年2月17日
長野市上下水道事業経営審議会資料

長野市水道施設整備計画の概要

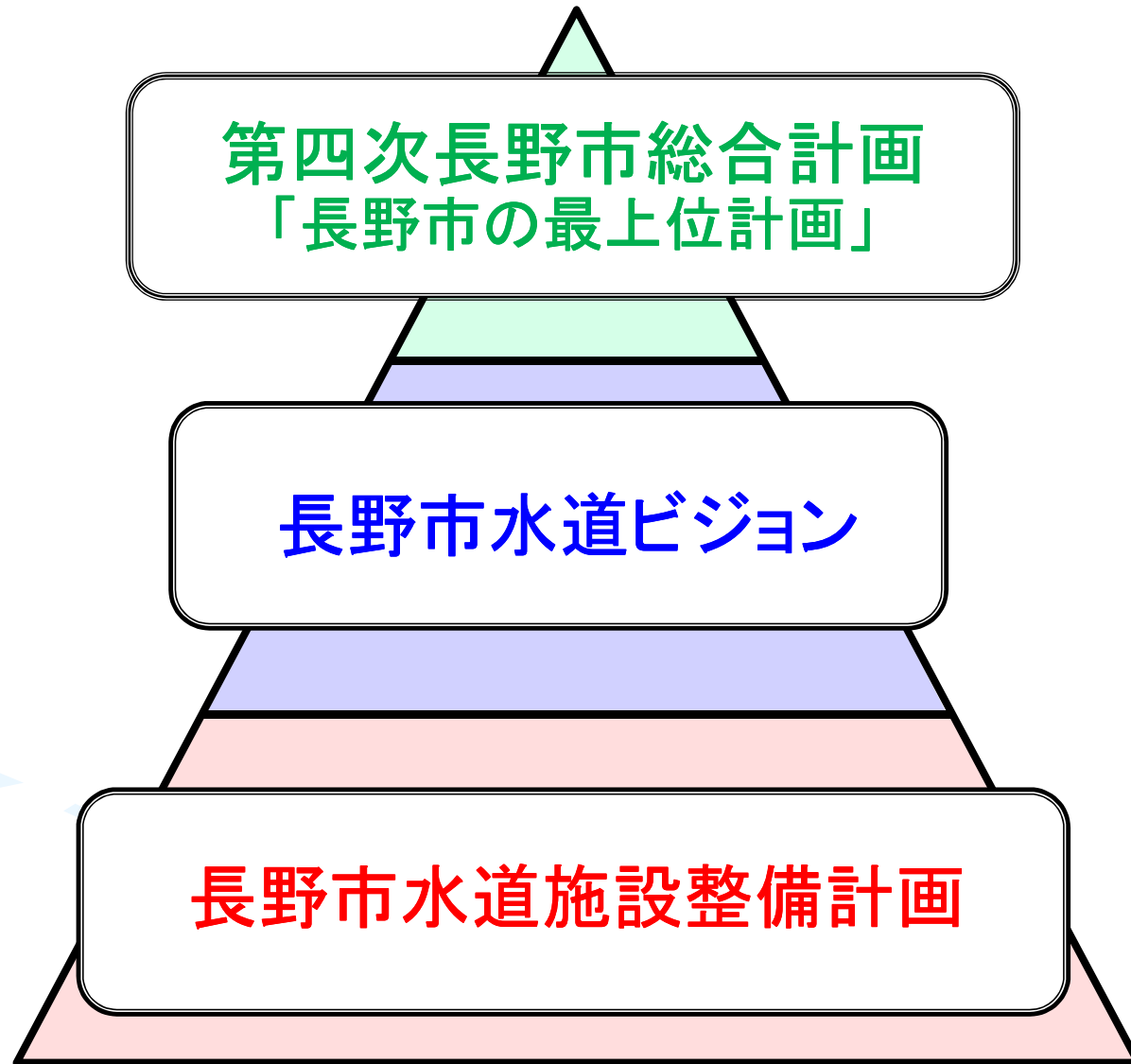
長野市上下水道局
水道整備課



ご説明する内容

1. 計画の位置づけ
2. 長野市水道の将来予測
3. 長野市水道施設整備計画

1. 計画の位置づけ



長野市水道施設整備計画の基本的な考え方

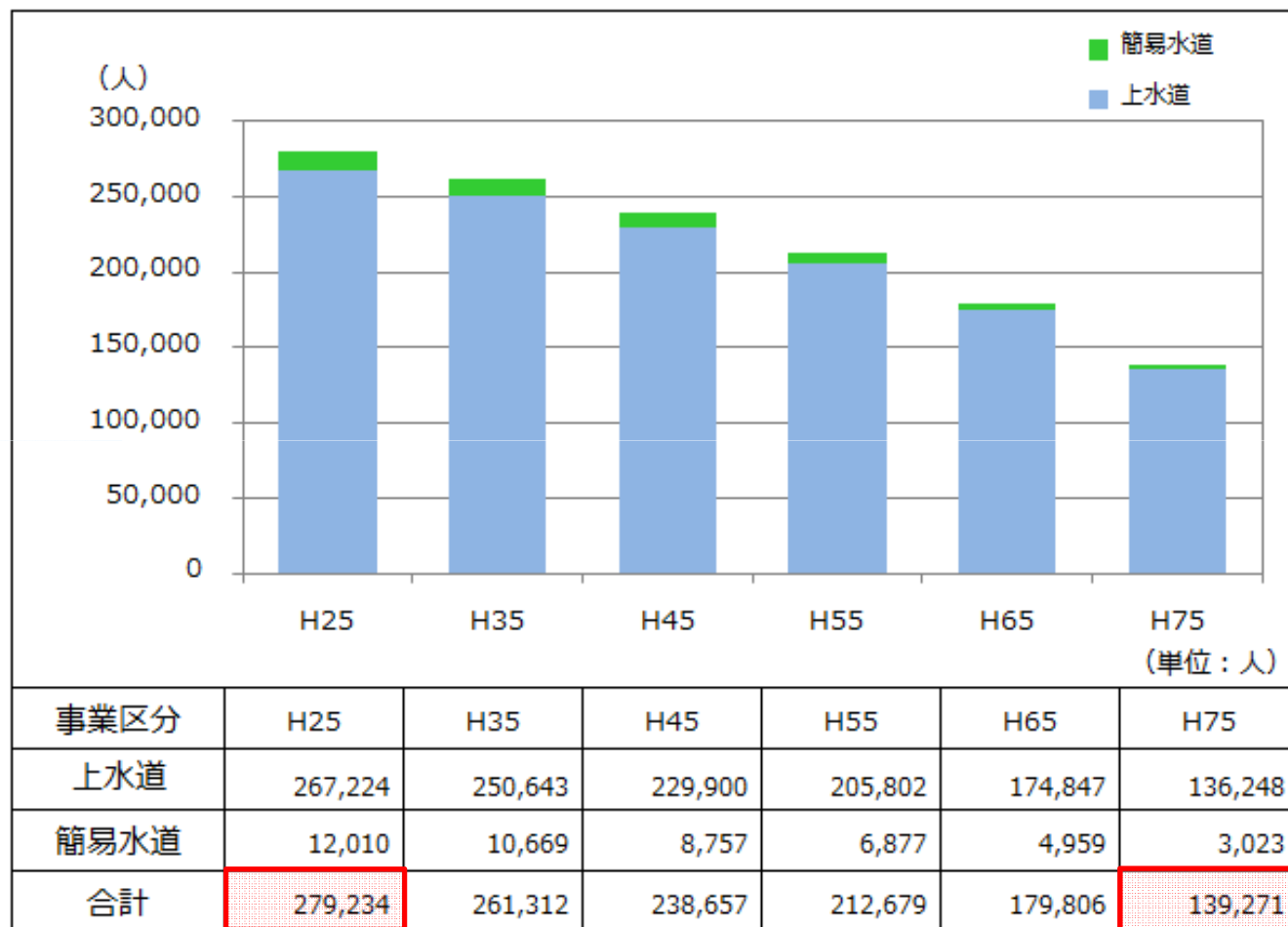
- 将来の水需要の減少を踏まえ、**50年後を見据えた計画**
- 現状の水源及び施設規模に余裕があることから、**現状施設を有効活用し、適切な規模に再構築**
- 非常時に安定した給水を確保できるように、**相互バックアップ可能な配水の確保と耐震化を図る計画**

2. 長野市水道の将来予測

1) 給水人口

2) 一日平均給水量

1) 給水人口

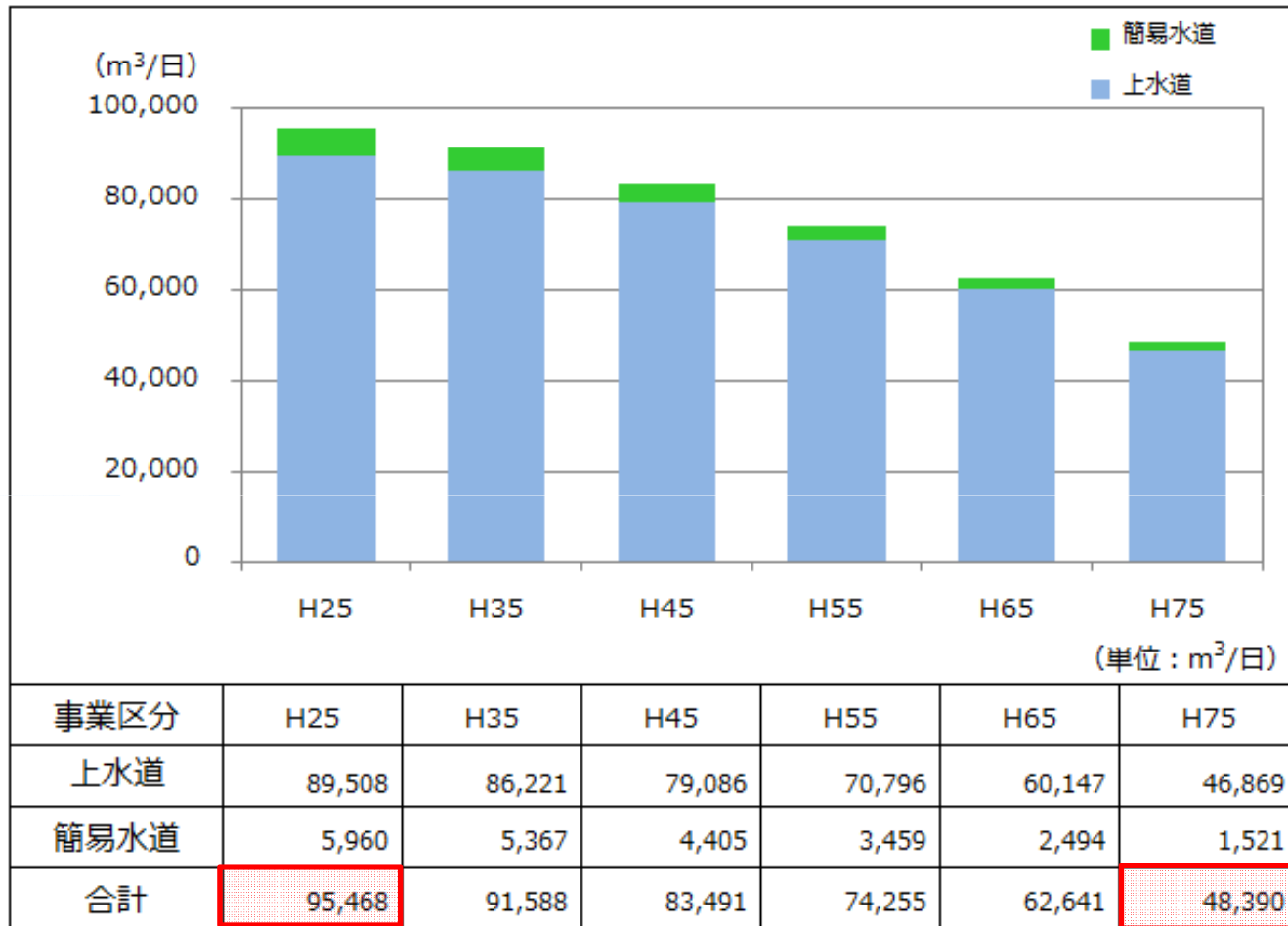


(長野市水道ビジョン P28より抜粋)

50年後の割合
(H75/H25)

49.9%

2) 一日平均給水量



50年後の割合
(H75/H25)

50.7%

(長野市水道ビジョン P29より抜粋)

現在の推計では50年後に人口、水量ともに約半分になる。
料金収入も大幅に減少する見込。

3. 長野市水道施設整備計画

- 1) 対象区域
- 2) 基幹施設(浄水場、主要配水池等)の統廃合
- 3) 主要な管路の整備計画
- 4) 施設、管路のダウンサイジング
- 5) 施設、管路の更新計画

1) 対象地区

上水道事業

長野地区(市街地及び市街地の周辺)

区域内人口 220,965人(79.6%)

その他の地区(豊野・松代・若穂・
芋井・小田切・七二会・信更)

区域内人口 45,007人(16.2%)

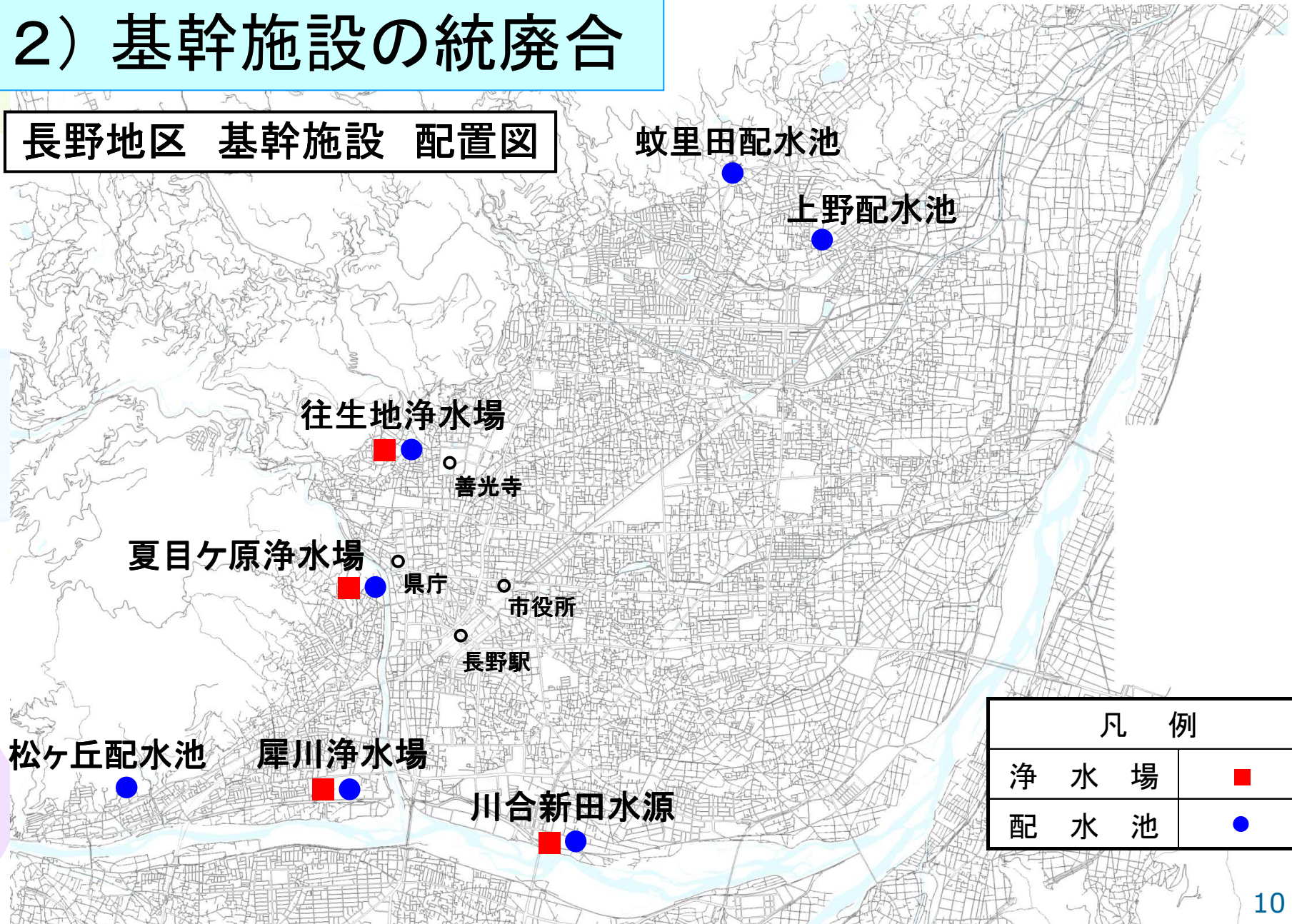
簡易水道事業

戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条地区

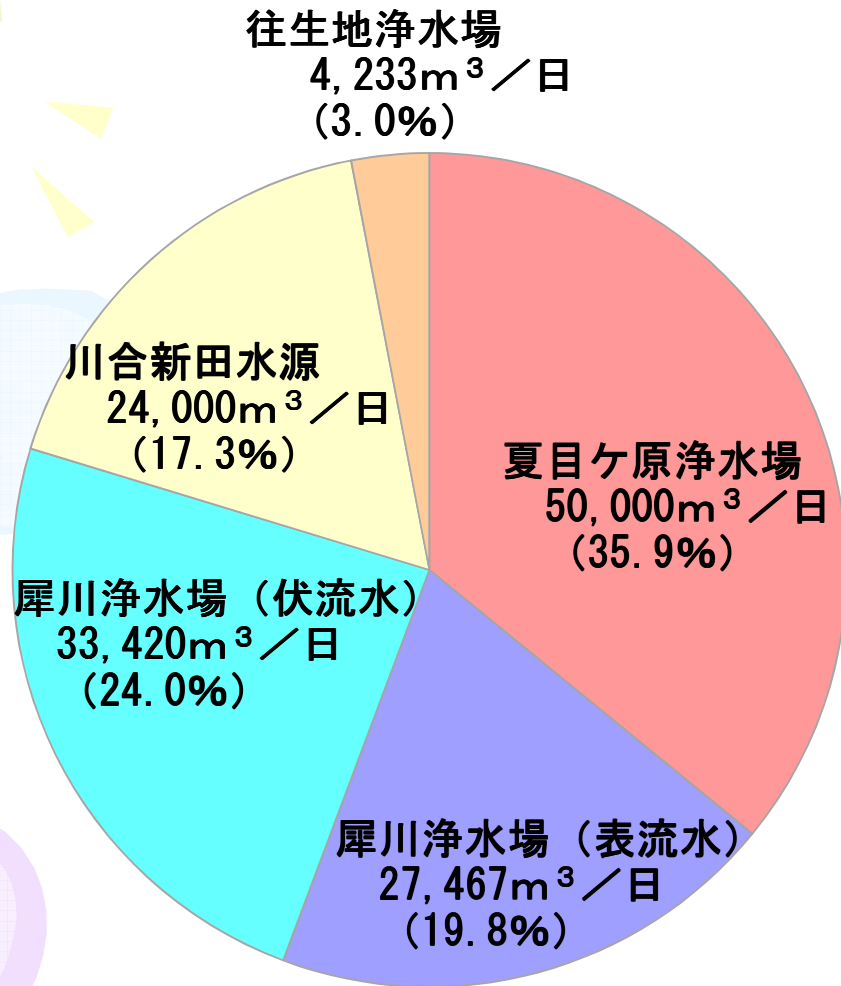
区域内人口 11,550人(4.2%)

2) 基幹施設の統廃合

長野地区 基幹施設 配置図



長野地区の浄水能力



浄水能力 : 139,000m³/日

1日当り

最大配水量 : 97,000m³/日

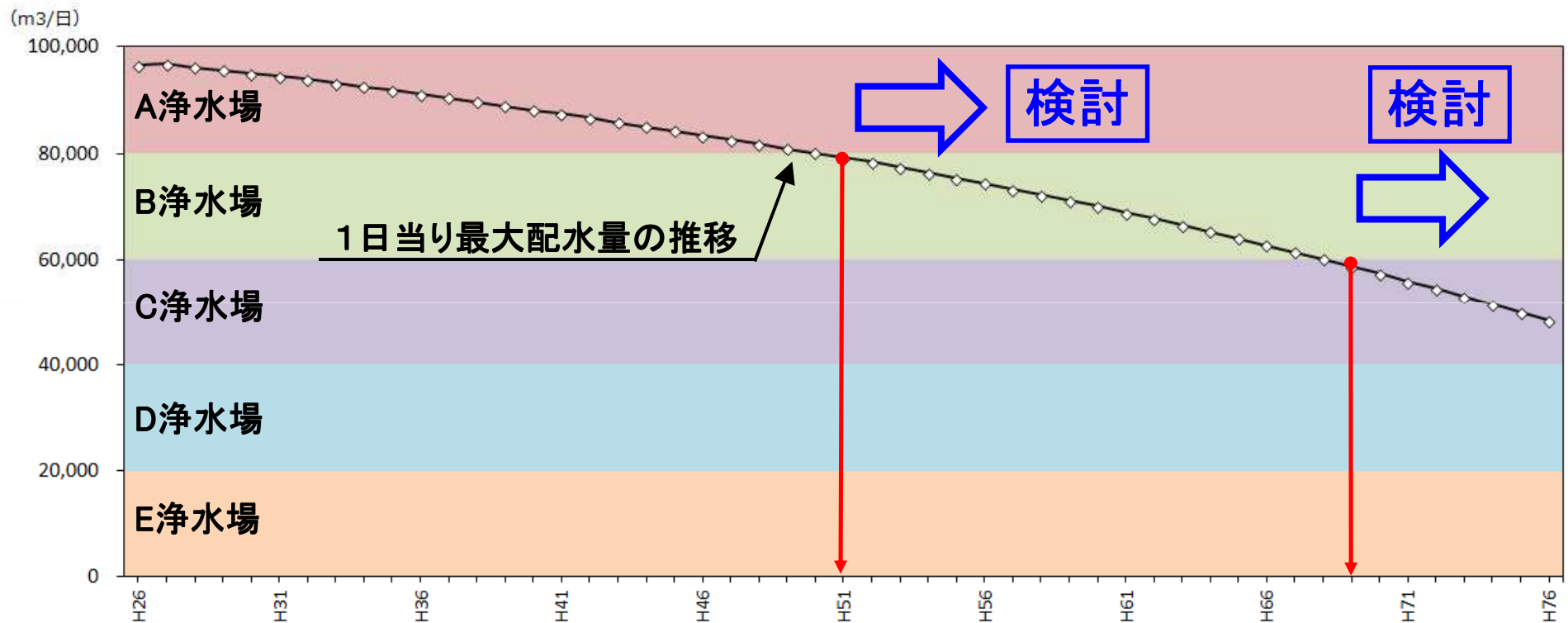
(平成26年度 実績)



1日当り最大配水量に比べて、
浄水能力には余裕があり、水量
は**十分確保**されている。

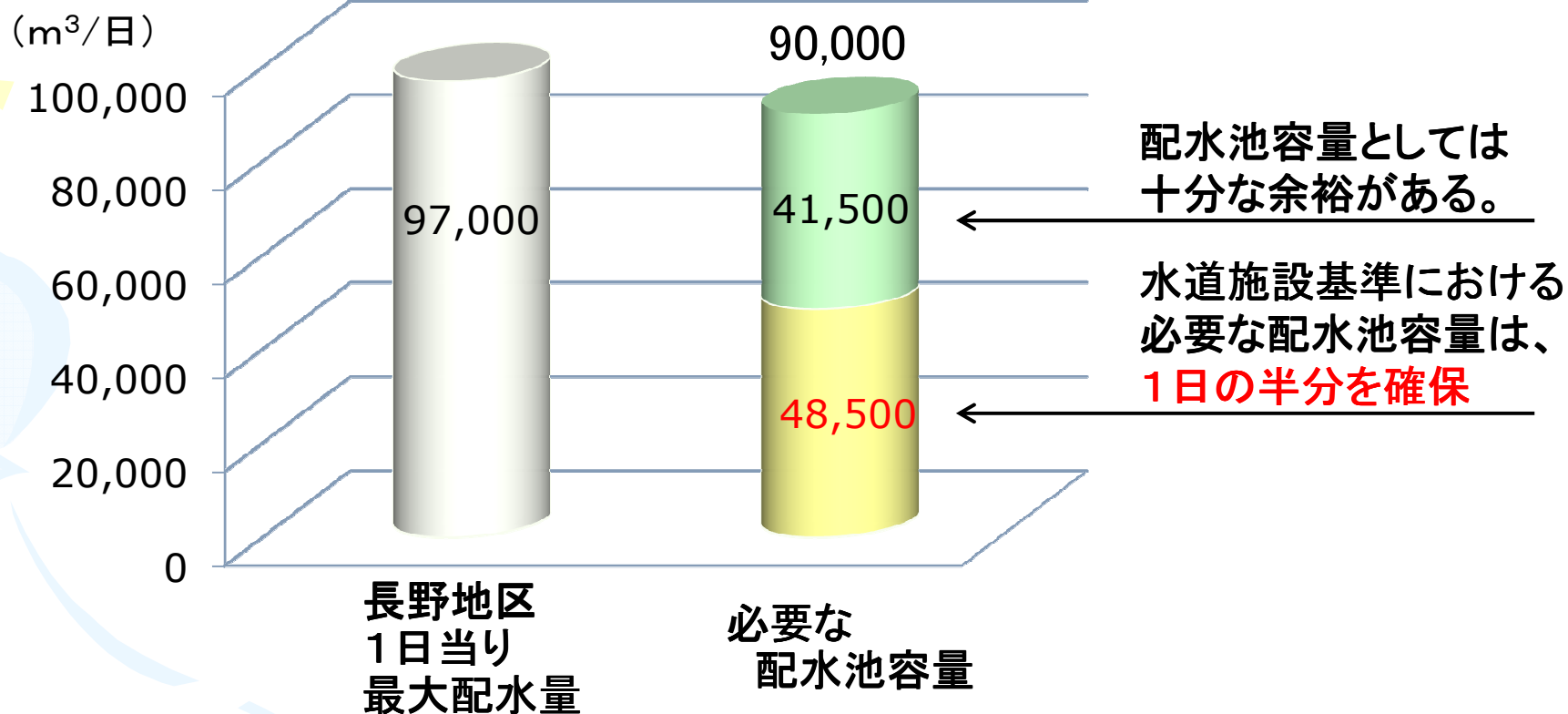
浄水場の統廃合のイメージ

水需要の減少と浄水能力



施設の更新費と維持管理費を比較検討し、規模縮小や廃止をする施設とその時期を検討する。

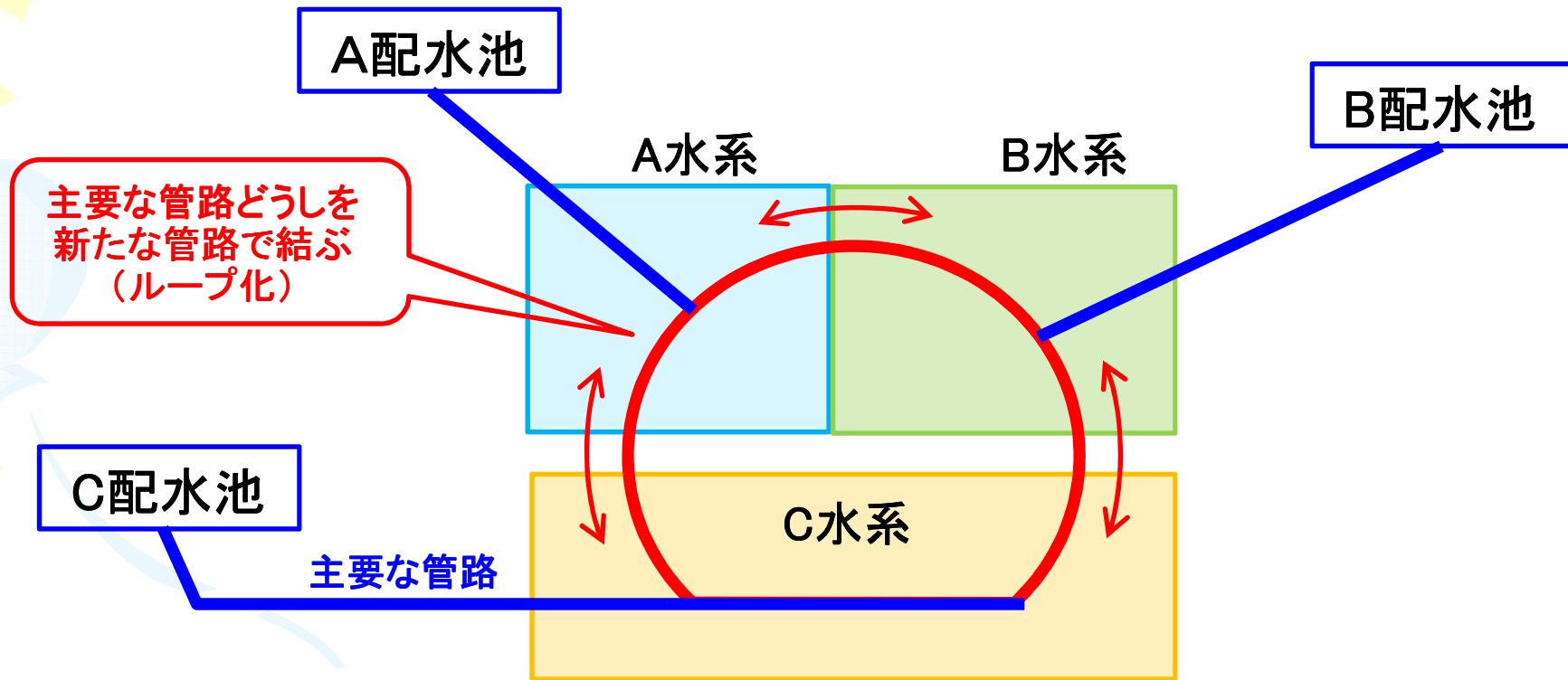
配水池の状況(平成26年度 実績)



配水池容量は、十分確保されているため、量的な問題はない。
更新時期を迎えた施設は、**廃止や耐震化による適正な規模に更新する。**

3) 主要な管路の整備計画

管路のループ化



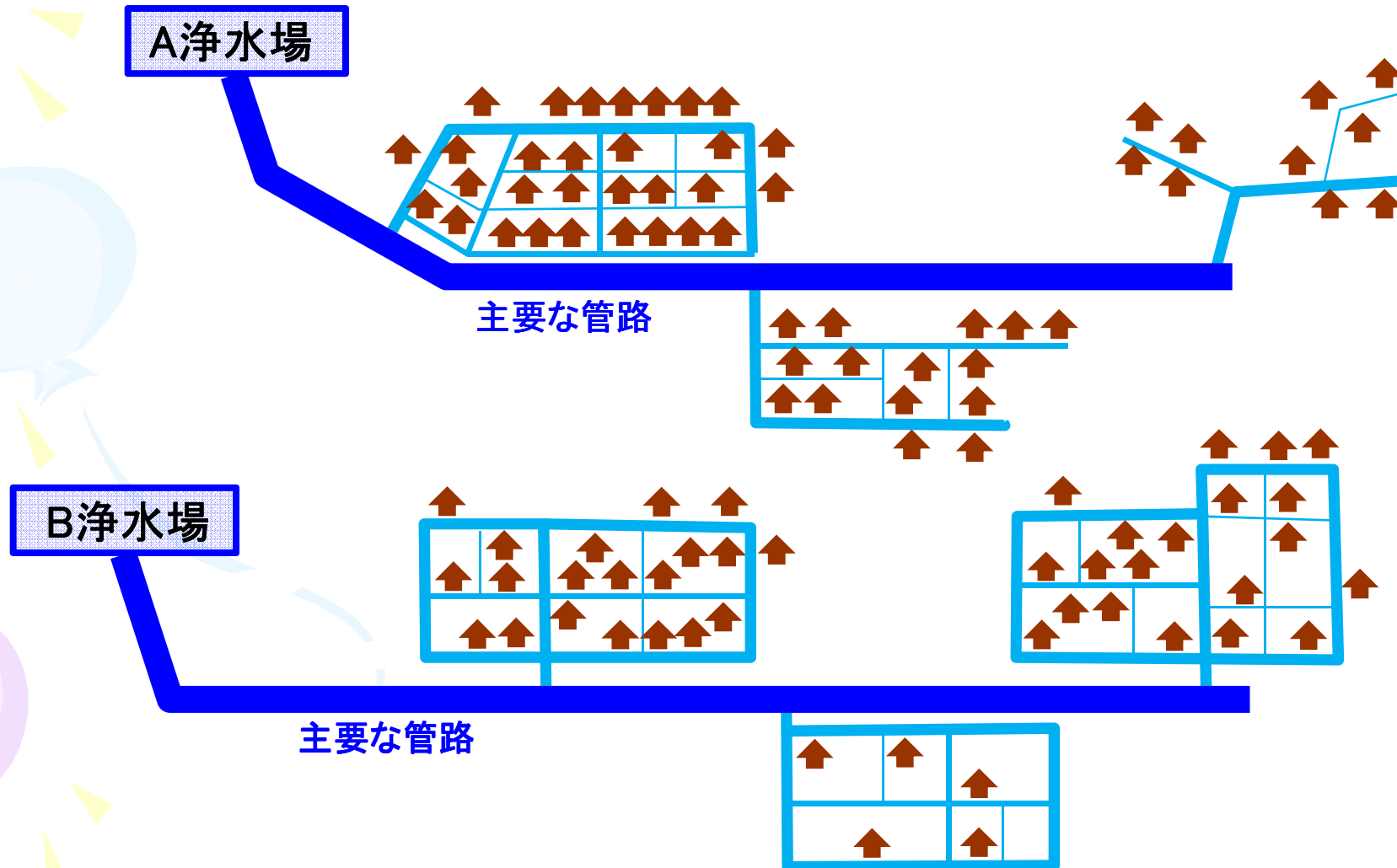
非常時に、隣りの水系からバックアップ可能となり、断水にはならない。

4) 施設、管路のダウンサイジング

現在

ダウンサイジングのイメージ図

宅地数 1,000戸



50年後

宅地数 500戸

A浄水場

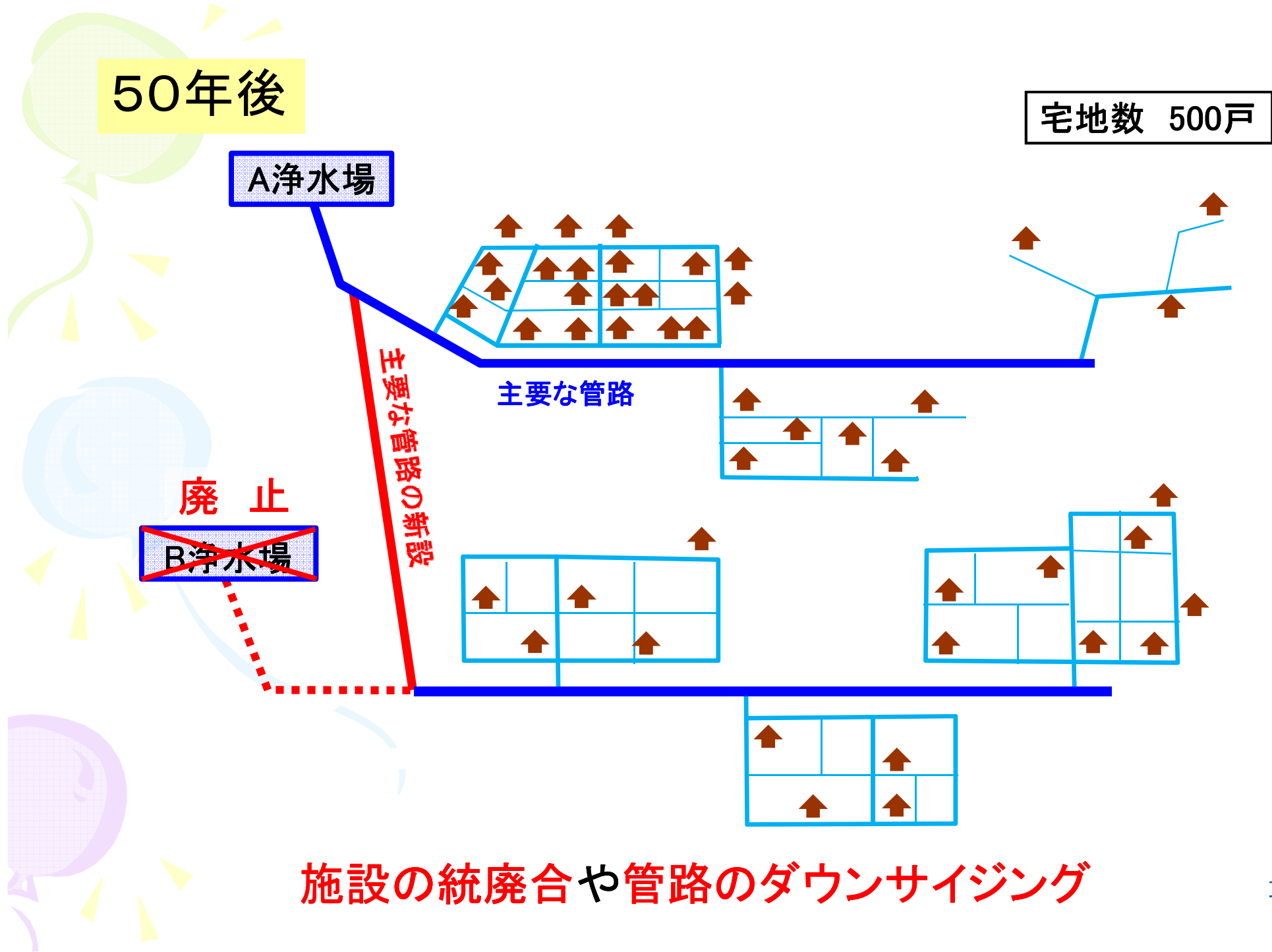
廃止

~~B浄水場~~

主要な管路の新設

主要な管路

施設の統廃合や管路のダウンサイジング



5) 施設、管路の更新計画

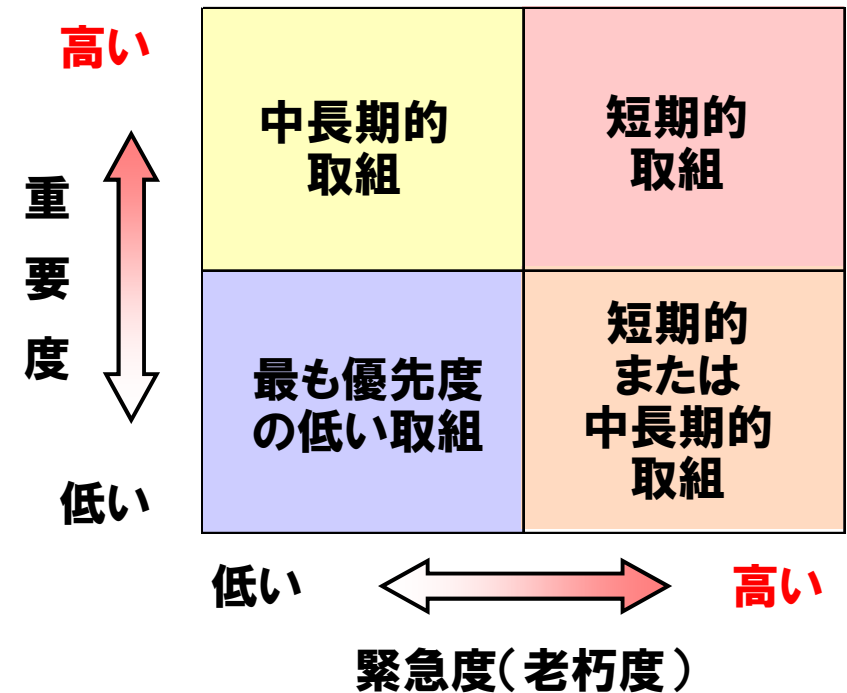
更新計画策定の評価基準

- ・施設、管路の評価
(重要度、緊急度)
- ・給水量減少の時期
- ・主要な管路の切り回し計画
(影響が大きいため止められない)
- ・概算事業費



評価基準を総合的に勘案し、**優先順位、施工箇所等**を決め、**年次計画を策定**する。

施設、管路の評価のイメージ



ご清聴ありがとうございました。

